

(2) 自然再生の対象となる区域

森吉山麓高原自然再生事業の対象地となる区域(事業対象地)は、秋田県北秋田市森吉山麓高原1-1(面積487.7ha)とする。この場所は森吉山頂の東部にあたり、ノロ川左岸と東又沢に挟まれた区域である(図1-2)。

同箇所は草地造成により広葉樹林が伐採されたことにより、自然再生が必要とされる箇所であるとともに、土地所有者が事業実施者である秋田県であることから、事業の円滑な実施が可能である。

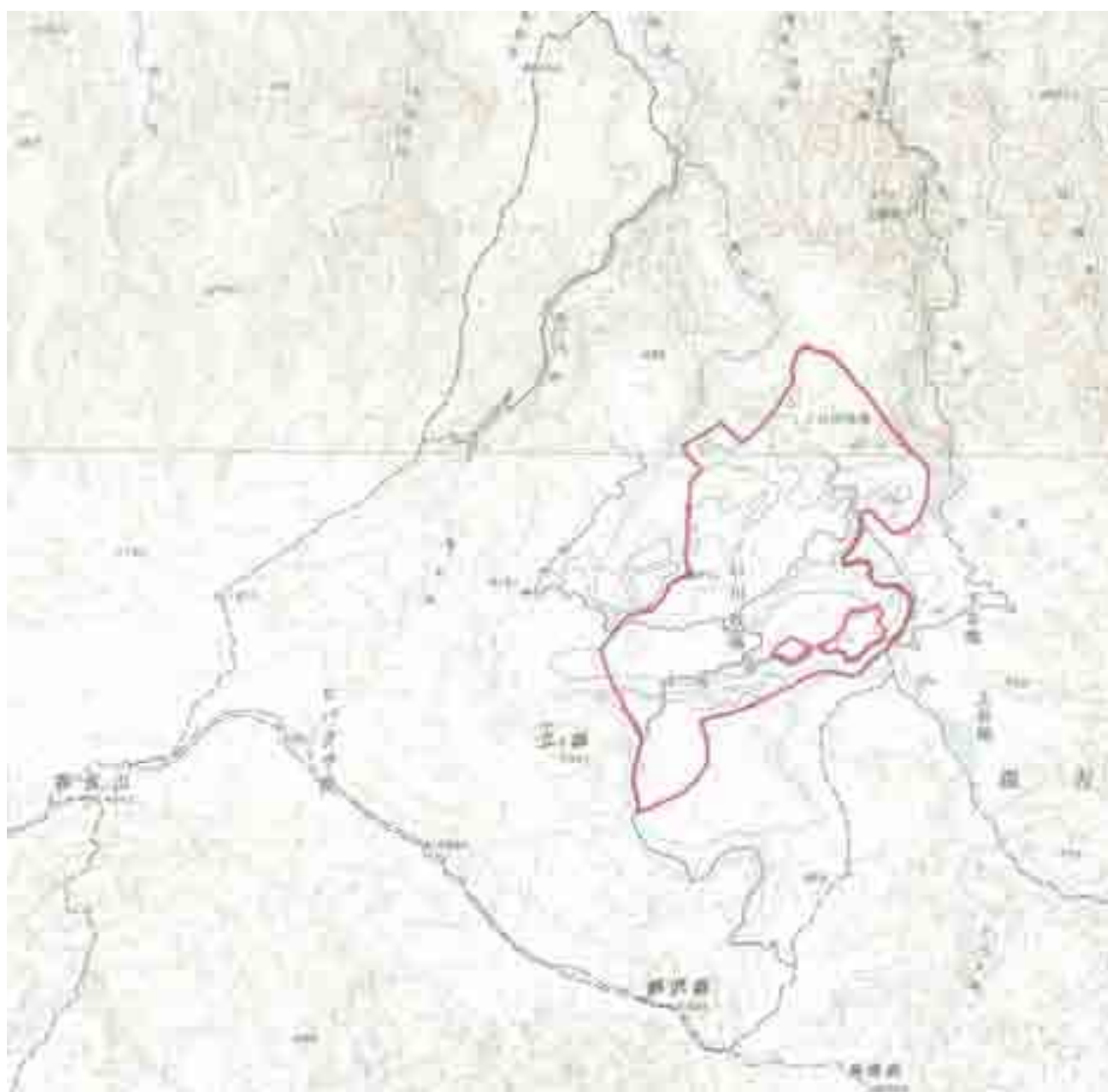


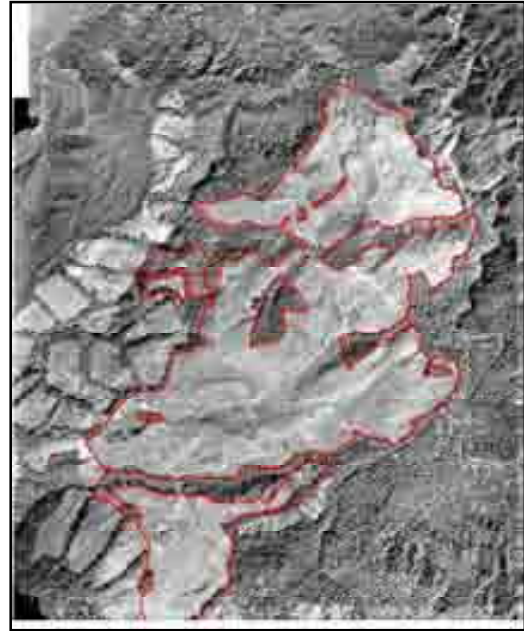
図1-2 自然再生の対象となる区域

(3) 自然再生の対象となる区域の開発の経緯

自然再生の対象となる区域においては、畜産の振興による山村所得の向上と雇用拡大を期待し、昭和 49 年度から昭和 63 年度にかけて県営及び団体営で 263.7h a が草地造成されている。草地造成に先立って事業範囲内の森林の大部分が伐採された。草地造成後は森吉町営牧場（当時）として利用され、平成 7 年には 259 頭が放牧されたが、平成 17 年度の放牧数は 64 頭になっている。



昭和 45 年の事業対象地



昭和 55 年の事業対象地



平成 2 年の事業対象地



平成 13 年の事業対象地

図 1 - 3 事業対象地の変遷（航空写真）

3 事業対象地及びその周辺の概況

(1) 地形及び土壌

事業対象地は森吉山北東に位置する標高約 620m～880mの箇所で、森吉山火山地山頂の爆裂火口形成に由来する泥流によって形成された火山泥流台地である。全体的になだらかな起伏を持つ箇所が多い。¹⁾

事業対象地の草地部分の土壌は、未熟土壌と森林的土壌に大別される。未熟土壌は草地開発に伴い、表層が剝削されるか、逆に盛土されたものを指す。森林的土壌は、人為的な攪乱が比較的少なく、林地の土壌に類似した土壌である。事業対象地の林地部分の土壌は、山地帯に一般的に分布する褐色森林土壌である。各土壌とも水分環境等により細区分し、事業対象地内の分布を示す(図2-1)。²⁾

(2) 植生

ア．自然植生

森吉山城の自然植生は主にブナクラス域に属し、森吉山から八幡平にかけての一带は秋田県の中でもブナの原生林がまともに残っている地域である(図2-2)。森吉山のおよそ1,200mを超す山城では亜高山帯に属し、雪田植生、湿原、オオシラビソ群集、チシマザサ群落などが見られる。

標高約 1,200m以下は、冷温帯林に属し、ブナ・チシマザサ群団が広く被っている。

この群団域としては、榎森周辺には「桃洞・佐渡のスギ原生林」として天然記念物にされているスギ・ブナ群落やノロ川流域の平坦地形では、ヤチダモなどの湿性林も分布する。本地域を代表するブナ・チシマザサ群団は、高木層はブナが優占し、ベニイタヤ、コシアブラ、ウミズグサが混生している。低木層にはブナ、ハウチワカエデ、チシマザサ、オオバクロモジ、オオカメノキ、エゾユズリハなどが生育し、草本層にはブナ、ハウチワカエデ、ミヤマカタバミ、タニギキョウなどが生育する。群落高は 25～30mに達した壮齢林となっている。

これより下流域では地形が一変し、開析の進んだ小又峡などの急傾斜地では、尾根筋などにクロベキタゴヨウ群落、雪崩斜面にはミヤマナラ群落やヒメヤシブシータニウツギ群落が見られる。

イ．代償植生

比較的低標高地においては冷温帯の代償植生が見られる。森吉山城南部などではウダイカンバ二次林もみられ、太平湖・小又川周辺ではオオバクロモジ・ミズナラ群集(二次林)が分布する。また、スギ植林地も広く分布している。⁹⁾

事業対象地は、植生的には草地(人工草地)と林地(人工草地以外)に大別され、林地は伐採を受けていない天然林と二次林からなる。草地においては湿生地に成立するヨシ群落、クサヨシ群落、ハンゴンソウ群落、牧草地に成立するミノボロスゲ群落、エゾノギシギシ群落、林縁部に分布するチシマザサ群落が認められる。林地においては、事業対象地南側の沢沿いなどに分布するオノエヤナギ群落、事業対象地全域の沢沿いに分布するサワグルミ二次林、一部にウダイカンバ二次林が成立している。また、それ以外の箇所に関してはブナの天然林及び二次林からなる群落が分布している。²⁾

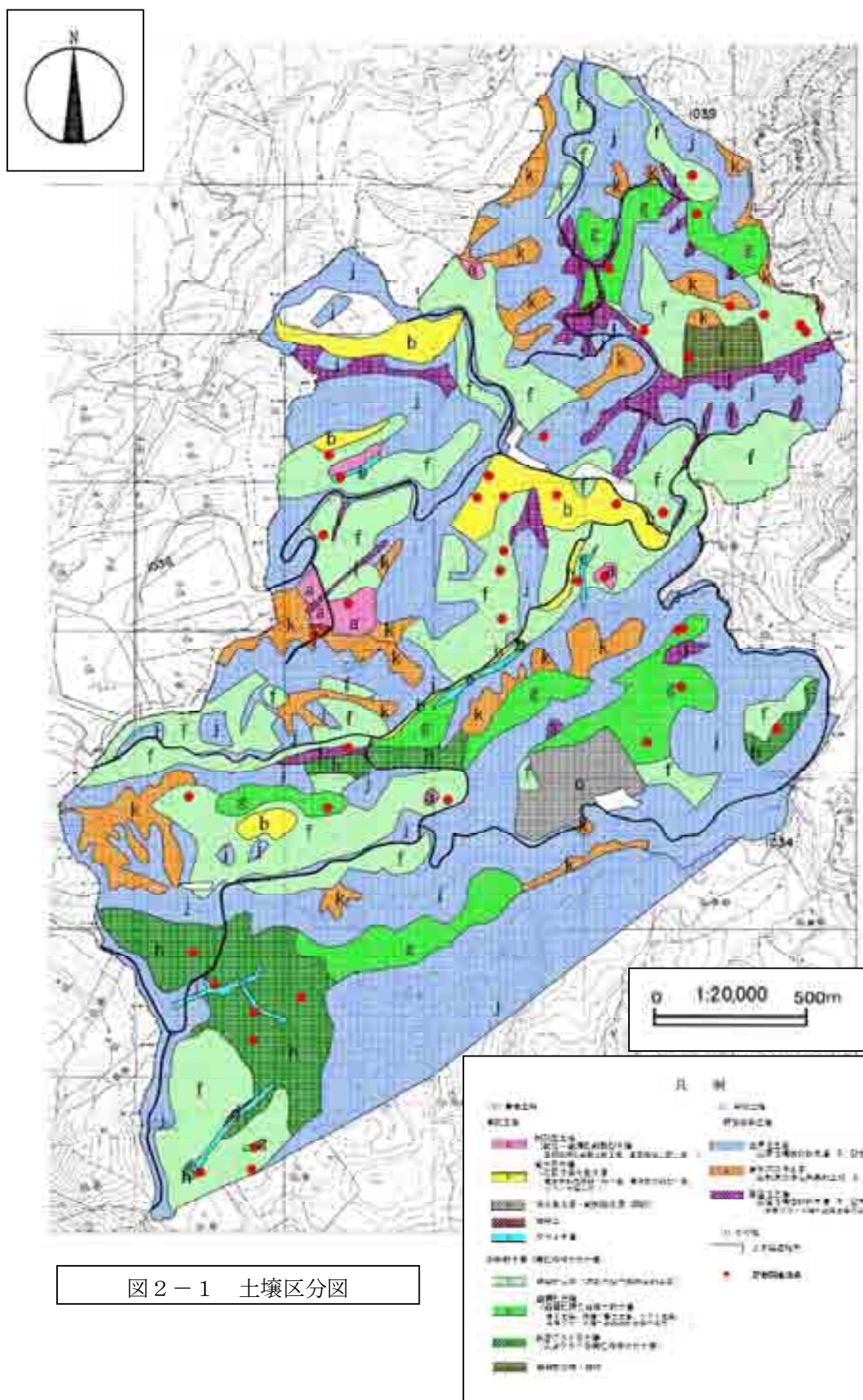
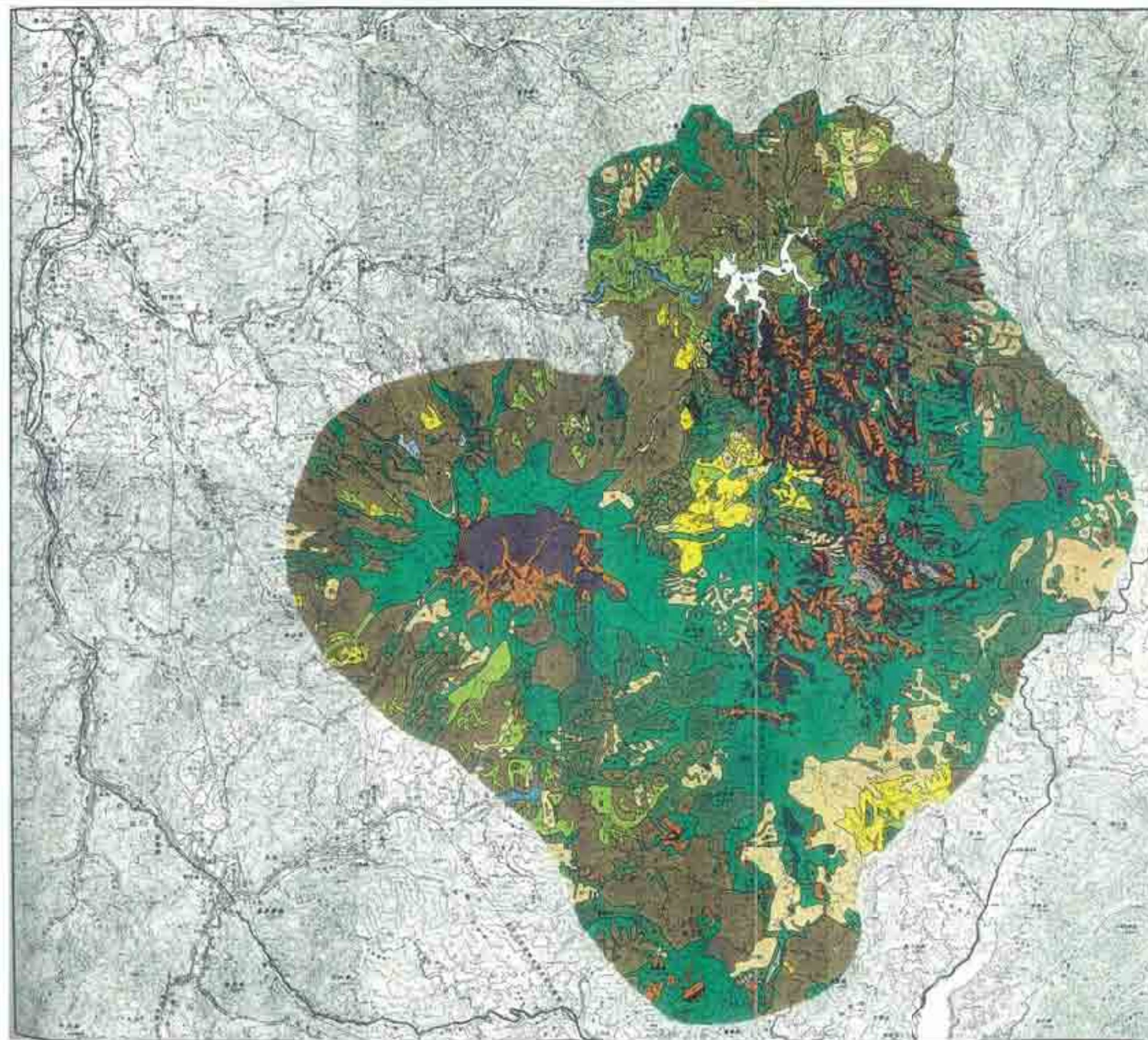


图 2-1 土壤区分图



森吉山県立自然公園
現 存 植 生 図

一凡例一

- 亜寒帯・亜高山帯自然植生
 - 常緑樹林
 - オオシラビソ群落
 - ナシマヅナ群落（亜寒帯帯、一部ミヤマナシ群落を含む）
- 亜高山帯・山地帯自然植生
 - ナシマヅナ群落
 - ミヤマナシ群落（ミヤマナシ群落）
 - ミヤマナシ群落及びミヤマナシ群落
 - ミヤマナシ群落（ミヤマナシ群落）
- 冷温帯・山地帯自然植生
 - ブナ・ミヤマナシ群落（二次林）
 - ナシマヅナ群落（二次林）
 - ナシマヅナ群落（二次林）
 - ミヤマナシ群落（二次林）
- 植生帯・植生帯
 - ミヤマナシ群落（ミヤマナシ群落）
 - 植生帯及び植生帯
- その他
 - 自然植生
 - 人工植生
 - 植生帯

図 2 - 2 現存植生図(森吉山域)
4)を改変

